

テーマ 循環型社会とは何か

課題やレポート等で循環型社会に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。循環型社会を学ぶうえで読んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探すとき、こんなキーワードで探してみよう

持続可能性、資源循環、循環型社会、ごみ処理、廃棄物管理、3R、発生抑制、再利用、リサイクル、再資源化、再生利用、サーマルリサイクル、熱回収 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『循環型社会キーワード事典』廃棄物・3R研究会編，中央法規出版，2007.10	8号館 3F (8号館和図書)	518.0/ZS-K	10+0270718	循環型社会のみならず廃棄物処理（ごみ処理）に関する用語が解説されており、廃棄物に関する研究をする際には、持っているとな非常に役立ちます。

入門書 ☆基礎を学んでみよう

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『世界がもし100人の村だったら：総集編』池田香代子・マガジンハウス編著，マガジンハウス，2008.10	8号館 3F (8号館和図書)	304.0/SM-H	10+0236167	持続可能な世界とはどのような世界なのか。世界の不公平を極めて分かり易くイメージさせてくれる本で、公平な資源分配について考えることを助けてくれます。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『自然資本の経済：「成長の限界」を突破する新産業革命』ポール・ホーケン，エイモリ・B. ロビンス，L. ハンター・ロビンス，日本経済新聞社，2001.10	B1A 和開図書	330.0/HP-S	10+0270716	原題では「ナチュラル・キャピタリズム」。小手先の省エネや効率化ではなく、自然資本の価値を見直し、その持続可能な享受のための新しい産業システムを提案する。
『循環型社会をつくる：3R推進への展望と課題』崎田裕子・酒井伸一編，中央法規出版，2009.3	8号館 3F (8号館和図書)	518.0/HS-Z/1	10+0270719	廃棄物資源循環学会が発行したシリーズの第一弾。学会の重鎮によって多角的に循環型社会の分析がなされています。
『ごみの文化・尿尿の文化』廃棄物学会ごみ文化研究部会，日本下水文化研究会尿尿・下水研究分科会編，技報堂出版，2006.5	8号館 3F (8号館和図書)	518.0/GB-S	10+0300933	そもそも、日本において「ごみ」とはいつから「ごみ」なのか、ごみと尿尿（つまりおしっこやうんち）はどうやって処理されてきたのかといった、ごみと尿尿の歴史文化を探る。

学術雑誌 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌名・発行元	諸蔵巻・所蔵年	ポイント
『廃棄物資源循環学会誌』 (廃棄物資源循環学会)	20<2009-継続中> ※前身誌『廃棄物学会誌』1-19 J-stageにて一部公開 廃棄物学会誌 (Vol.1～Vol.19) https://www.jstage.jst.go.jp/browse/wmr1990/-char/ja 廃棄物資源循環学会誌 (Vol.20～Vol.22, No.3) https://www.jstage.jst.go.jp/browse/mcwmr/-char/ja	廃棄物資源循環分野の大半は工学を中心とした理系。従って、やや難しい雑誌であるが、特集は環境教育や経済など文系分野にもまたがり、多くの知見を与えてくれます。
『循環とくらし』 (廃棄物資源循環学会)	1-9<2010-継続中> 学会 HP にて公開 http://jsmcwm.or.jp/journal/?page_id=47	廃棄物資源循環学会が発行する、市民 PR 版の雑誌。「ごみの一歩手前を考える」をテーマに毎年特集号が発行されます。バックナンバーは学会 HP でもダウンロードできます。

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC（蔵書検索）や CiNii で調べましょう

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
EIC ネット	http://www.eic.or.jp/	このサイトの環境 Q&A には、この分野で知りたいことの大半の質問と回答が網羅されています。確度も高いので、事典として参考にするの良いでしょう。

※上記 URL は 2020 年 9 月現在のものです。